

さんだゼロカーボンシティ推進計画(素案)の概要

1 計画策定の目的

国では、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されたことを受け、2021年4月に開催された気候サミットでは、「2050年目標と統合的で、野心的な目標として、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていく」ことが表明されました。

本市においても、かけがえのない財産である豊かな里山を未来の世代へ引き継いでいけるよう、2021年6月3日に2050年ゼロカーボンシティに挑戦することを表明したことから、今後、持続可能な開発目標であるSDGsの理念も踏まえ、着実に脱炭素社会を目指していくため、「さんだゼロカーボンシティ推進計画」を策定するものです。

2 計画策定スケジュール

現在、策定を進める「さんだゼロカーボンシティ推進計画（素案）」の施策体系は、次ページのとおりです。

なお、本計画は、今後パブリックコメントを経て年度内に策定予定です。

本計画の策定により、「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、市を挙げて本格的なスタートを切ることとなります。

次年度以降、本計画に基づき、市民、事業者の皆さまとのパートナーシップを構築し、様々な取り組みを展開してまいります。

目指す将来像

基本理念

基本方針

施策の方向性

オール三田で未来を紡ぐ
 らゼロカーボンシティの実現

三田市でCO₂の排出をみんなと一緒
 に0にしよう！

I. 地域と共生する
 再生可能エネルギーの導入

- 1) エネルギーの脱炭素化
 - ① 再生可能エネルギーの導入促進
 - ② 太陽エネルギーの利用拡大
 - ③ 未利用エネルギー等の活用促進
 - ④ 水素エネルギー等の利活用

II. 更なる省エネルギー対策

- 1) 省エネルギーの推進
 - ① 社会活動における省エネルギーの促進
 - ② 住宅・建築物の省エネルギーの促進

- 2) 移動手段・輸送手段の脱炭素化
 - ① ゼロカーボンドライブの促進
 - ② 環境に配慮した自家用車の活用
 - ③ 環境に配慮した移動手段の活用
 - ④ 貨物輸送における省エネルギーの

III. CO₂の排出抑制と吸収
 機能の保全・拡充

- 1) ごみの減量
 - ① **ごみの発生抑制**・再使用の促進
 - ② 再資源化の推進

- 2) 里山の保全・活用
 - ① 里山を守り、活かす

- 3) CO₂吸収源の保全・拡充
 - ① 緑化の推進
 - ② 新たなCO₂吸収技術の検討

IV. 脱炭素意識の醸成によるオール三田での取組

- 1) 脱炭素意識の醸成
 - ① 情報発信の推進
 - ② 環境教育・環境学習の推進
 - ③ パートナーシップの構築